【記入例】

**１**

**２**

**４**

**３**

**７**

**８**

**５**

**６**

|  |
| --- |
| 様式第20の2(第48条の3条関係)実　　務　　経　　験　　証　　明　　書　　（例） |
| 氏　　名 | **消防　太郎**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（ **○○**年　**○**月　**○**日生）　　 |
| 取り扱った危険物 | 類 別 | 第 **４** 類 | 品 名 | **第１石油類（ガソリン）** |
| 取り扱った期間 | 　　　　　**○○**年 **○**月 **○**日　から　**○○**年　**○**月　**○**日まで　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（**○**年**○**月） |
| 製造所等の区分（該当するものを○で囲むこと） | 製造所　・　貯蔵所　・　取扱所 |
| 　　 　　上記のとおり相違ないことを証明します。　　　　　　　　　　　　証明年月日　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 **○○**年 **○**月 **○**日　　　　　　　　　　　　事 業 所 名　　　　　　　　　　　　　 **○○工場株式会社　南倉庫**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　所　 在 　地　 　　 **○○市○町○丁目○番○号**　　　　　　　　　　　　証　 明　 者　　　　職　　 名 　　　　　　　　　**代表取締役社長**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 氏　　　名　　　　　　　　　**危険物　次郎**　　　印　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 電話番号　　　　　　　　　**000**　（ **0000** ） **0000**　　　　　  |

【記入要領】

［実務経験証明書（例）記入要領］

１　「氏名」欄は、証明を受ける者の氏名と生年月日を記入する。

２　「取り扱った危険物」欄は、実務経験で取り扱った危険物の類及び品名とする。危険物の類が複数ある場合は、主として取り扱った危険物の類を記入し、危険物の品名についても同様に取り扱うこととする。

３　「取り扱った期間」欄は、実務経験の期間を記入する。括弧内には、合計の年月を記入する。

４　「製造所等の区分」欄は、実務を行った危険物施設の区分を〇で囲む。複数の製造所等の区分にまたがる場合は、主として実務した施設の区分を〇で囲む。

５　証明年月日は、記載内容を証明する年月日を記入する。

６　事業所名は、実務経験をした**製造所等がある事業所**の事業所名を記入する。

７　所在地は、当該事業所の所在地を記入する。

８　証明者は、事業所の長等、当該事業所における業務を統轄、管理する者とし、その者の職名及び氏名を記入し、押印することとする。電話番号は、証明者本人又は当該事業所のものとする。